

令和4年度

第3回 館山リノベーションまちづくり構想懇談会

令和4年10月19日

## スケジュール

### 全体スケジュール

日程	時間	テーマ
2022年 8月 3日 (水)	14:00 ~ 17:00	「館山のまちの未来を考える」
2022年 9月14日 (水)	14:00 ~ 17:00	「公共施設・公共交通の利活用」
2022年10月19日 (水)	14:00 ~ 17:00	「公民連携の必要性」
2022年 1月25日 (水)	14:00 ~ 17:00	振り返りと報告会

### 本日のスケジュール

議題	担当	目安時間
ファシリテーター挨拶〔第1回・第2回の振り返り〕(10分)		14:00 ~ 14:10
個別ワーク〔何が出来る & 何をしたい〕(5分)	懇談会委員	14:10 ~ 14:15
グループワーク〔何が出来る & 何をしたい〕(15分)	懇談会委員	14:15 ~ 14:30
レクチャー (20分×2)	小嶋直氏・松村美乃里氏 中山拓郎氏・田中昴氏	14:30 ~ 15:10
休憩(10分)		15:10 ~ 15:20
レクチャー (20分)	高橋浩志郎氏	15:20 ~ 15:40
グループセッション〔ビジョンマップ作成とアウトプット〕(80分)	懇談会委員 + 草加市ゲスト + 館山市職	15:40 ~ 17:00
18時より 講演会 ~ 館山の「公民連携の必要性」を考える ~ @渚の駅館山 休憩室		

## グループ

### Aチーム

氏名				所属				備考					
吉	田	育	世	五	代	目	吉	田	米	屋	玄米甘酒商品開発等		
八	代	美	歩	富			崎			館	富崎館再建プロジェクト		
中	島	光	子	P	h	o	t	o	n	3	2	5	実行委員会 銀座振興会
須	藤	健	太	須		藤		牧		場	商工会議所 房総生シェイク祭主催等		
牟	田	健	登	館	山		家	守		舎			
嶋	津	彰	一	館	山		市	役		所	雇用商工課長		

### Bチーム

氏名				所属				備考				
井	月		昇	鰻	和	処	い	づ		喜	商工会議所青年部会長	
小	倉	輝	一	小		倉		商		店	実行委員会	
沖		浩	志	合	同	会	社	ア	ル	コ	TGC指定管理者 元地域おこし協力隊	
田	村	知	巳	館	山		信	用	金	庫	実行委員会	
漆	原		秀	館	山		家	守		舎		
矢	代		誠	館	山		市	役		所	食のまちづくり推進課	

### Cチーム

氏名				所属				備考				
望	月	大	輝	望	月	ス	ポ	-	ツ	銀座振興会 商工会議所 青年会議所		
御	子	神	嵩	ユ	タ	カ	設	備	工	業	所	長須賀商業会 商工会議所 青年会議所
千	原	清	之	岡			部		建	設	商工会議所・青年会議所	
本	間	裕	二	館	山		家	守		舎		
櫻	井	敏	行	館	山		市	役		所	雇用商工課 企業誘致・官民連携担当係長	

## ビジョン策定に向けて（前回の振り返り）

### 自分のやっていること

農家さんからなるべく高くお米を買う 消費の拡大・販促

若い農家の支援

浄化槽・下水道の提供、市水への移管

地元食材100%を目指す

気軽に集える場所づくり

### その効果

耕作放棄地の減少・土地を守ること

農業の担い手の育成・技術の伝承

市にお金が入る

地元の企業が盛り上がり 就職先が増える 移住者が増える

仕事にありつけないので館山に戻っている子どもたちが館山で仕事をはじめられていない 引きこもり予備軍  
「館山は仕事がないから」ではなく子どもが帰ってきたことはチャンス 館山に残ってほしい こういう仕事ができるというマッチングが出来ないか？  
「館山に帰りたい」という子供たち = 館山の宝物 帰ってこれる環境づくり 自分の所に戻す

## 草加市の取組事例

### 事例 シェアアトリエ「つなぐば」

つなぐば家守舎 代表 小嶋 直氏 松村美乃里氏

軽量鉄骨造2階建アパートをリノベーション。

利用者同士がともに子どもたちを見守りながら仕事ができるシェアアトリエ  
【コンセプト】

仕事につながる  
母親につながる  
地域につながる

3つのつながる軸に「つなぐば」を運営



## 草加市の取組事例

### 事例 Organic Farmer's Store

Chavi Peltto代表 中山 拓郎氏 (organic都市農業家)

草加市で代々続く農家の五代目。草加駅から徒歩10分の場所で農業を営む。  
2反の畑が住宅街のど真ん中であり、マンションやアパートが隣接している。  
ここで、野菜・果樹・ハーブなどを栽培している。



### 事例 野菜とお酒のバル スバル

スバル店主 田中 昂氏

18年間休業していたお寿司屋さんをリノベーション。  
地場野菜を使った洋風おばんざいを提供し、自宅と職場に次ぐ第三の場所と感じられる場所を目指す。  
新鮮な野菜をたっぷり楽しめるのが魅力のバル。



## 草加市の取組事例

### 事例 ▶ 高橋浩志郎「私がやってきたこと・やっていること」

新潟のNSGグループで営業や事業再生などを行い、草加市役所へ転職。  
ベッドタウンでのリノベーションまちづくりに取り組む。  
令和2年3月 全国の仲間とともに「NPO法人自治経営」を設立。



草加市役所では、国民健康保険を5年勤め、産業振興課に携わり10年になり、中心市街地である草加駅前の再生を検討する。

高層マンションと商業施設を組み合わせた従来型の再開発ではなく、今ある空間資源を活かしたリノベーションまちづくりに出会い、全国の事例を研究して、地域再生プロデューサーの清水義次さんに相談し、草加リノベーションまちづくりが始まった。

草加リノベーションまちづくりでは、地域資源を活かし、地産地消のバルやカフェ、シェアアトリエなどが、相次いで開業した。（自分の欲しい暮らしを思い描きながら、これらのお店を応援することで、消費者が「まちの当事者」へと変わっていく。ベッドタウンの暮らしが、住民自らの手により、心豊かになっていくことに喜びを感じた。）自らの学びも深めながら、公民連携による地域再生・活性化プロジェクトの広がりを後押ししている。

## 草加市の取組事例

草加市の取組から

キーワードを抽出してみましょう。

新しい発見・学び・考え方など

事務局が抽出したキーワードは

「つなぐば」の「**つなぐ**」という言葉です。

「やりたい」を行政が「**つなぐ**」ことによって

その実現性は飛躍的に高まるのではないのでしょうか。

## 振り返り・やりたいことなど

中島さん

小さく始めていくことが大切。  
若手が人手不足ではあるが、出来ない理由より出来る理由を探していく。  
市内の飲食店でも館山の野菜をアピールしていないのが課題。  
館山にはたくさんおいしいものがあるのにアピールが下手。現場の人がアピールをもっと上手に。  
ハシゴを外さない事。

嶋津課長

顔の見える経済循環を行うために、ビーチマーケットを中央公園で。

吉田さん

子どもがいない、若手がいない、高齢化、と出来ない理由を探していた 出来る理由を探していく。  
ハブを作るのがリノベーション。  
館山市の人物像 = 恥ずかしがり屋（自分のことをさらけ出すのが苦手）。  
小さくても始めることが大切。



## 振り返り・やりたいことなど

千原さん

最初は文句しか言っていなかった。

自分で何が出来るか考えていく。建設業でも色んな工夫が必要。

地域の仲間みんなで考えて、1人ではなく、みんなで考えて仕組みづくりをしていく。

主婦層の活躍。女性でも働きやすい時間や待遇で働けるように。

沖さん

リノベーションまちづくりは、空き家だけでなく館山市全体のまちづくり。獣害対策（ジビエ）もまちづくり。

自分のやりたいことをもっとアピール。

須藤さん

自分が「したいことをする」ことが大切。

官民連携とは、大きいものを想像していたが、意外と小さいことのつながりが大切

官民連携 = 「感動するみんなの連携」

田村さん

これがあるから出来ないではなく、出来る理由を。

館山は資源がたくさんあるので、可能性はすごくある。

